



銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

2014年9月期 決算説明会

2014年11月26日

代表取締役社長 野崎 秀則



プレゼンテーション・アウトライン

- I： ACKグループのご紹介
- II： 今回の決算説明会のポイント
- III： 2014年9月期 通期業績ハイライト
- IV： 今後の展開(中期経営計画ACKG2013の強化)
 - 1. 中期経営計画ACKG2013の強化
 - 2. 2015年9月期～2017年9月期 3ヶ年の目標
- V： 2015年9月期 通期業績見通し
- VI： 質疑応答

APPENDICES

－主要トピックス、連結決算詳細

I : ACKグループのご紹介



ACKグループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
確実に成長してまいりました。

1957年	○株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成し、グループ経営を開始
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画

1957年～



1999年～



2006年～



ACKグループの提供サービス

海外・民間・国内公共の社会インフラを対象に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】ACKグループが対象とする社会インフラ(抜粋)

グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・設計・施工管理・維持管理 など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、 人材マネジメント など

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



今回の決算説明会のポイント

1

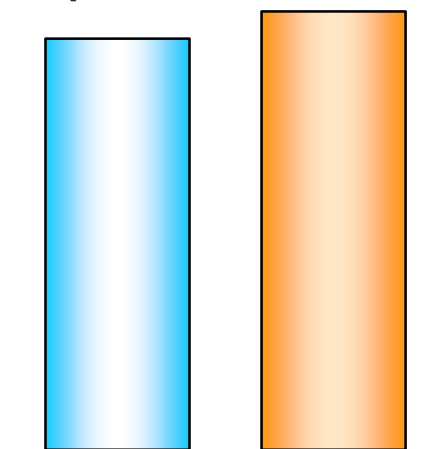
売上、利益ともに過去最高を達成

単位：百万円

<売上高>

7%増 過去最高

32,696 34,848

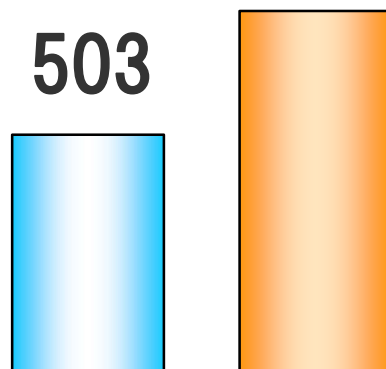


2013年 9月期 2014年 9月期

<営業利益>

52%増 過去最高

503 762

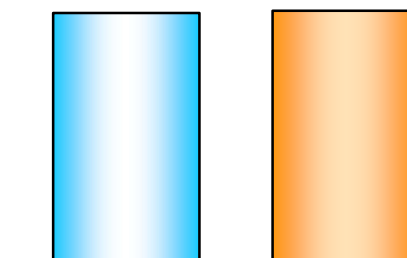


2013年 9月期 2014年 9月期

<純利益>

1%増 過去最高

524 529

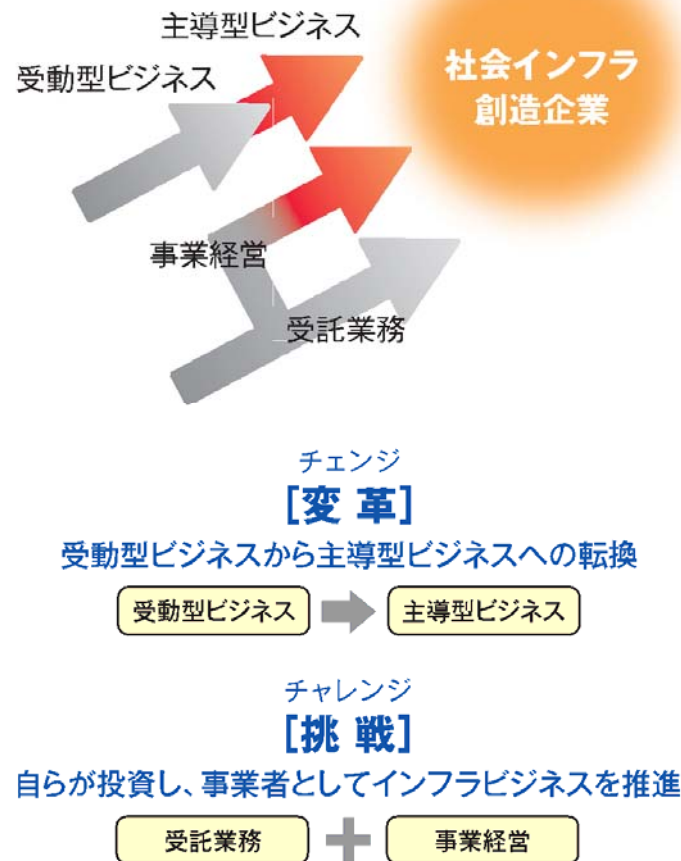


2013年 9月期 2014年 9月期

今回の決算説明会のポイント

2

中期経営計画ACKG2013の強化

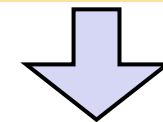


中期経営計画ACKG2013



中期経営計画ACKG2013の強化

- 個の強化
- 連携の強化
- 3軸市場の競争力強化



2020年のビジョン

今回の決算説明会のポイント

3

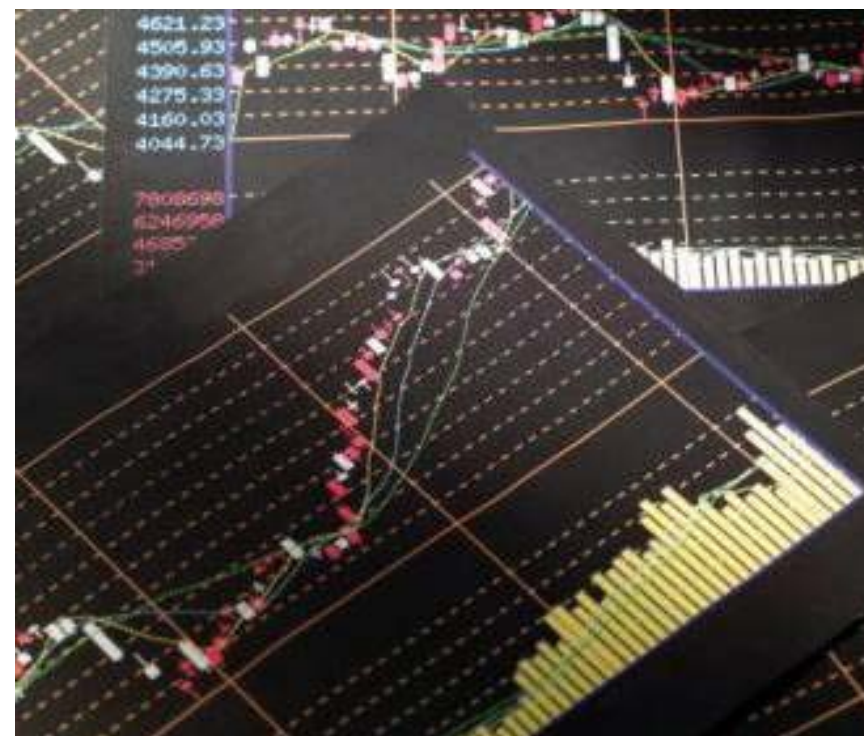
2015年9月期通期業績

- 中期経営計画ACKG2013の目標達成に向け、
売上高、営業利益共に着実に向上

(百万円)

	当期 (2014/9)	来期 (2015/9)	増減
売上高	34,848	37,000	↑ +2,152 (+6.2%)
営業利益	762	860	↑ +98 (+12.8%)

Ⅲ：2014年9月期 通期業績ハイライト



(1)連結受注高

■前期比で約17億円(4.5%)増

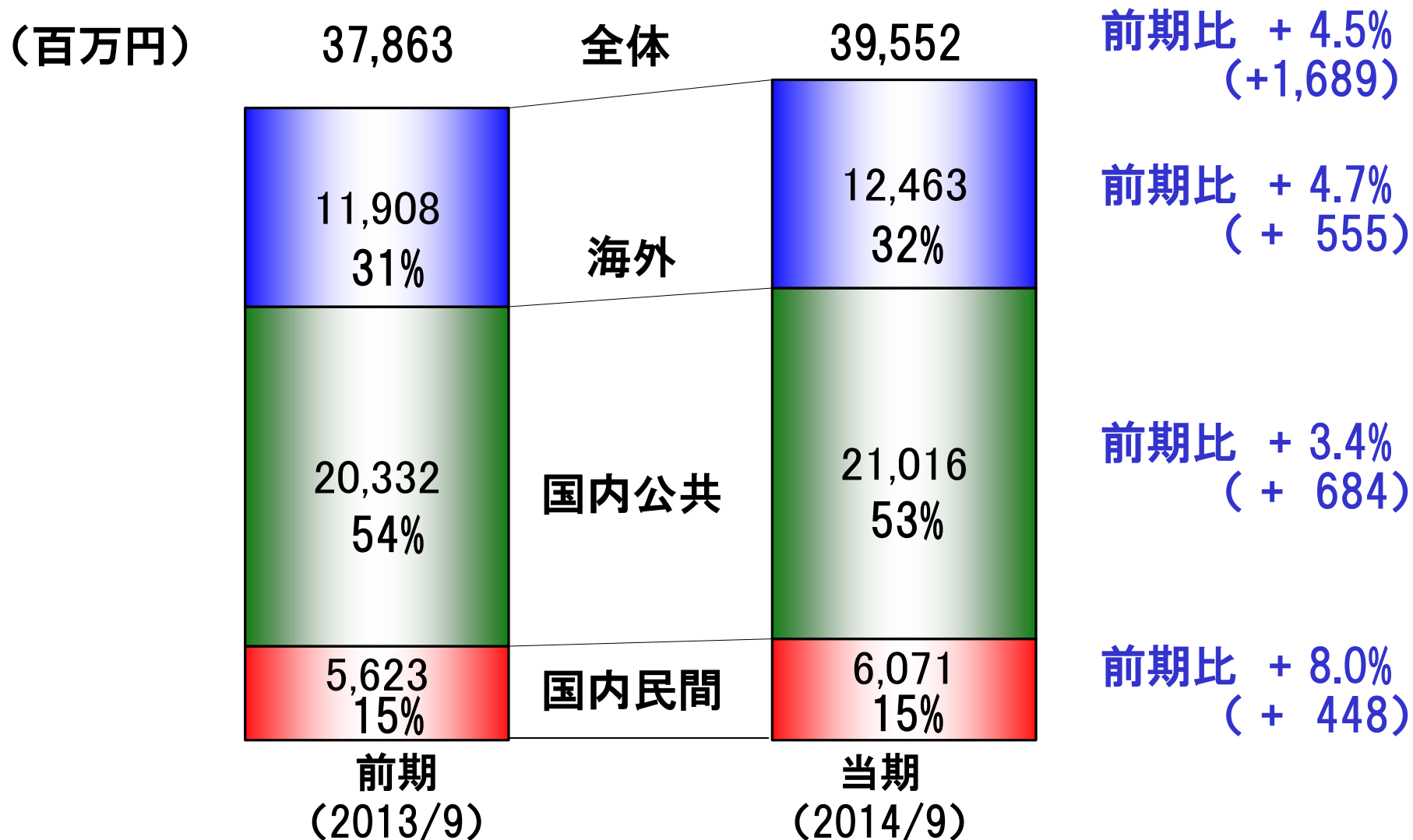
- 受注高は、**過去最高**
- 期首の**受注残高も大幅に増加**、今後の売上に貢献

	(百万円)			
	前期 (2013/9)	当期 (2014/9)	増減	計画値
受 注 高	37,863	39,552	↑ + 1,689 (+ 4.5%)	—
受注残高 [※]	39,477	44,171	↑ + 4,694 (+11.9%)	—

※受注残高: 受注済で生産中の契約総額

(2)連結受注高 3軸経営分野別

■国内公共、海外が好調。来期以降の売上拡大に寄与



(3)連結売上高

■前期比約22億円(6.6%)増

➤ 売上高は、**過去最高**

	(百万円)			
	前期 (2013/9)	当期 (2014/9)	増減	計画値
売上高	32,696	34,848	↑ +2,152 (+6.6%)	36,200

(4)連結売上高 3軸経営分野別

■国内公共、海外が好調

(百万円)	32,696	全体	34,848	前期比 + 6.6% (+2,152)
		海外		
	9,766 30%		10,639 31%	前期比 + 8.9% (+873)
	16,430 50%	国内公共	17,865 51%	前期比 + 8.7% (+1,435)
	6,500 20%	国内民間	6,344 18%	前期比 - 2.4% (-156)
	前期 (2013/9)		当期 (2014/9)	

(5)連結損益

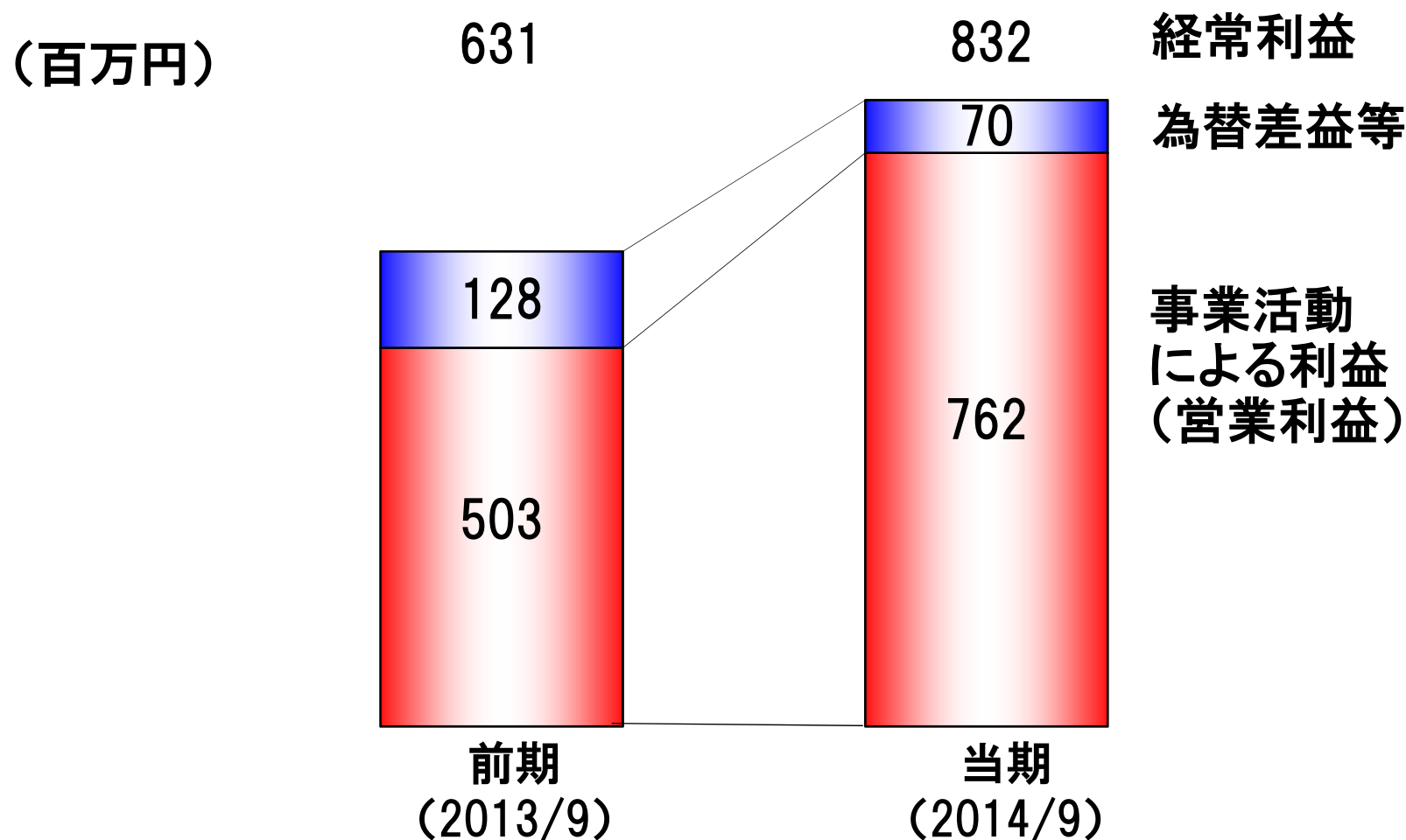
■営業利益、経常利益、純利益のいずれも増

➤ 営業利益、経常利益増、当期純利益は、**過去最高**

	(百万円)			
	前期 (2013/9)	当期 (2014/9)	増減	計画値
営業利益	503	762	↑ + 259 (+51.6%)	710
経常利益	631	832	↑ + 201 (+31.7%)	670
当期純利益	524	529	↑ + 5 (+1.0%)	510

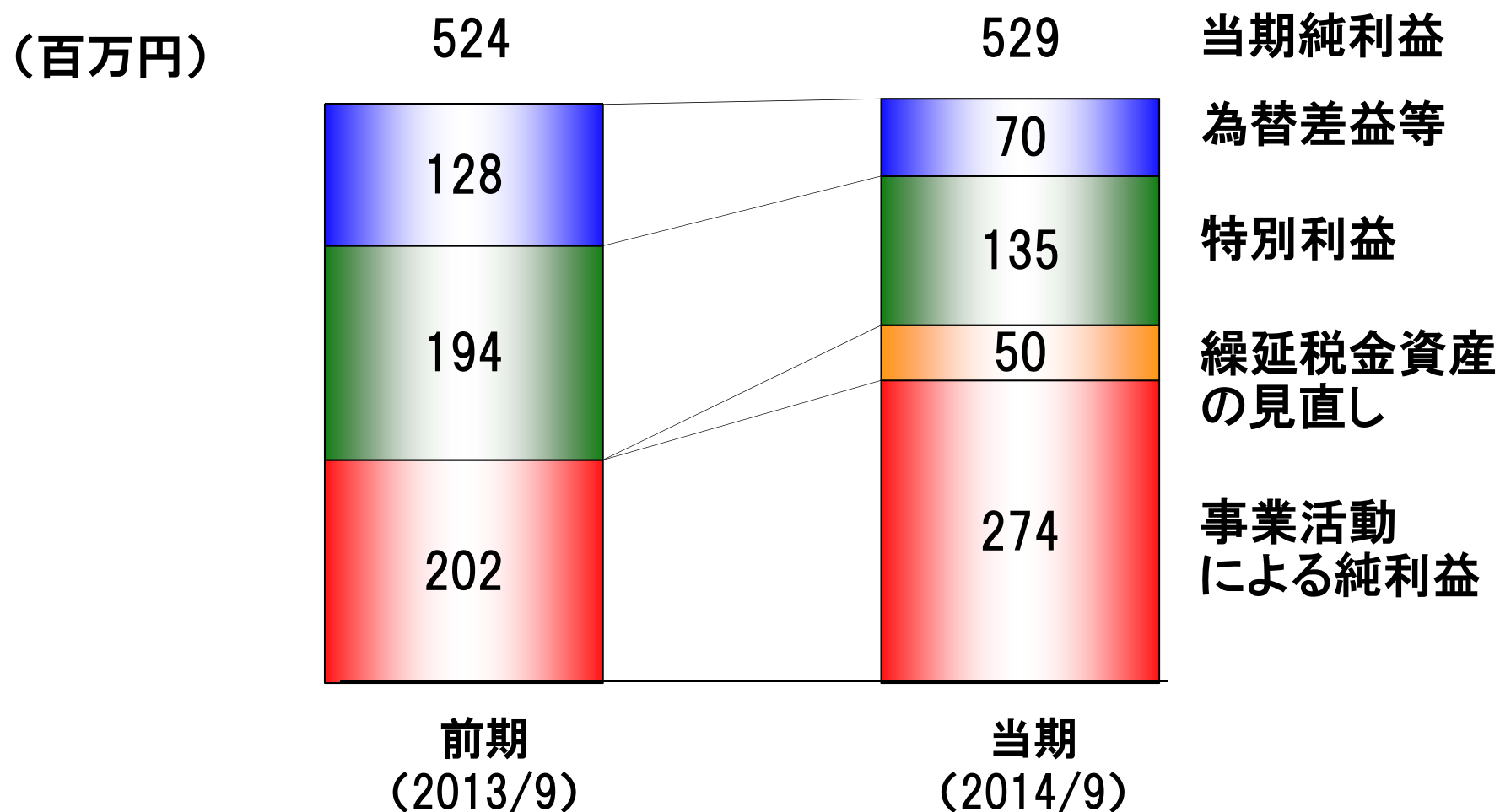
(6)連結損益の解説(経常利益)

- 事業活動による利益が向上
- 加えて、前期に引き続き為替差益等で経常利益が向上



(6)連結損益の解説(当期純利益)

- 事業活動による純利益が向上
- 加えて、前期に引き続き為替差益、特別利益等で純利益が向上



(7)貸借対照表(B／S)

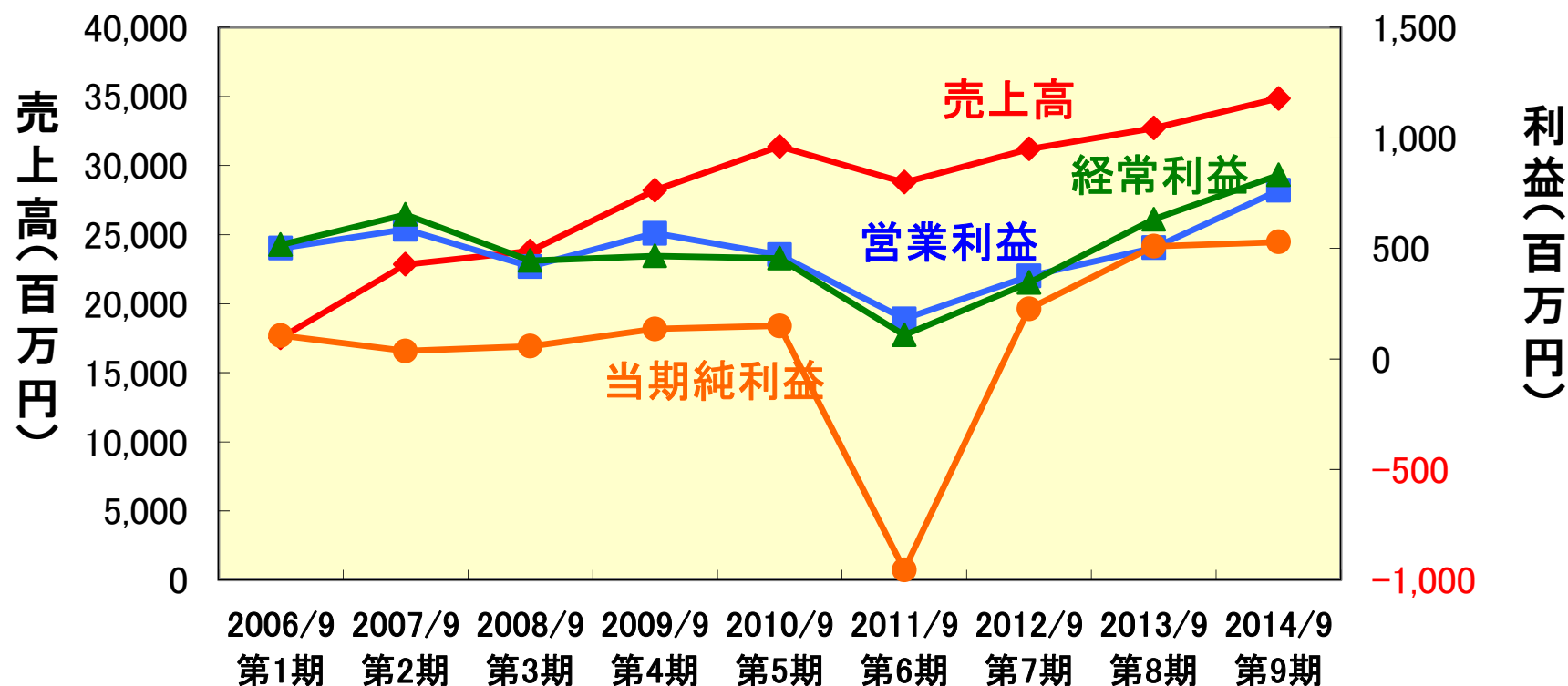
■有利子負債の減少により、負債が減少

➤借入金の返済、社債の償還により減少

	(百万円)		
	前期 (2013/9)	当期 (2014/9)	増減
有利子負債	1, 497	674	↓ -823 (-55. 0%)

(8)通期業績の推移

■売上高、利益とも過去最高



IV: 今後の展開

— 中期経営計画ACKG2013の強化 —





1. 中期経営計画ACKG2013の強化

株式会社ACKグループ 中期経営計画

ACKG 2013

—3つの強化で2020年ビジョン達成へ—

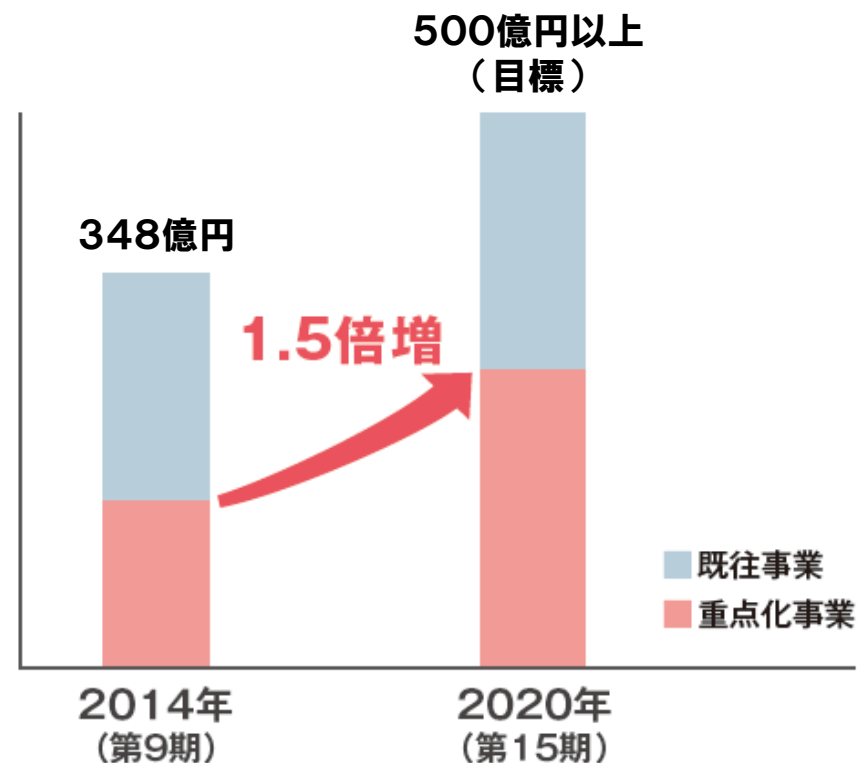
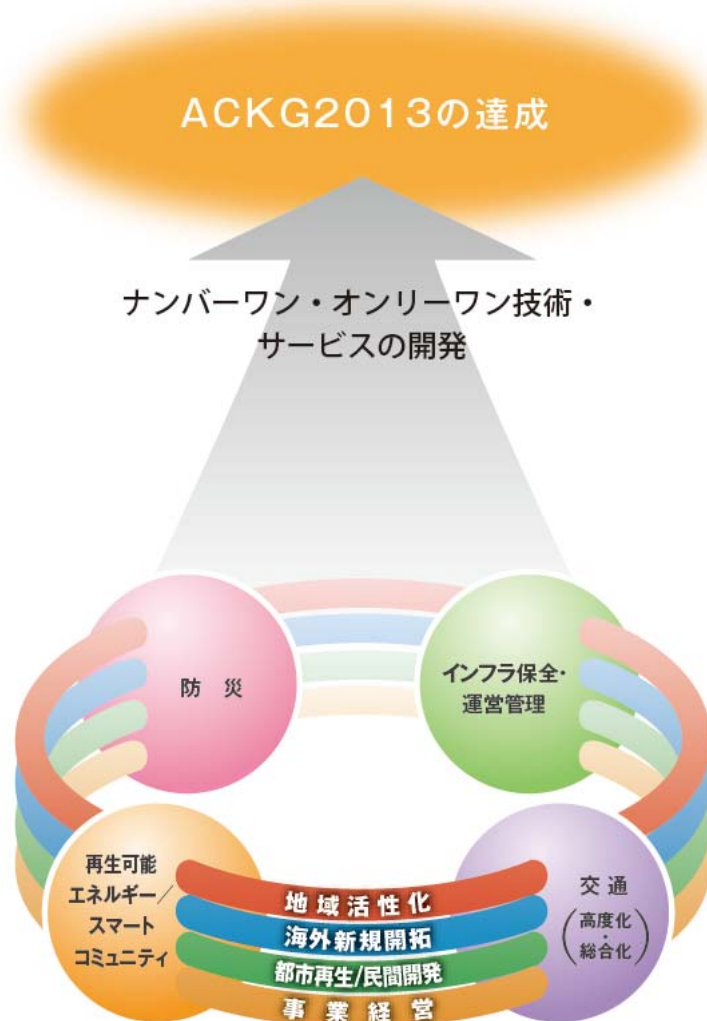
(1)スローガン

社会インフラ創造企業
～自らが社会を創造する担い手となる～



(2) 個の強化

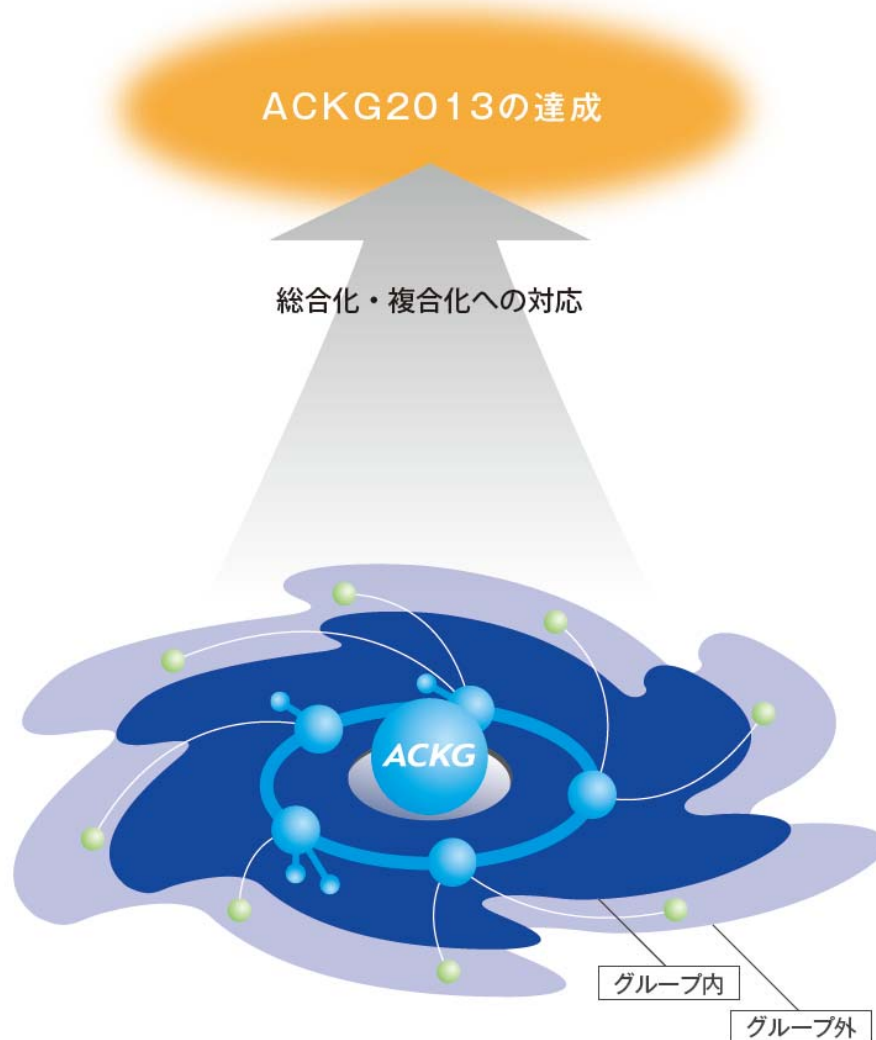
■重点化事業の投資を強化し、ナンバーワン・オンリーワンの技術・サービスを開発して、一層の重点化事業拡大を図る



4つの個別事業と4つの統合事業に、重点化プロジェクトを設定し、重点化事業の売上高1.5倍増を図る

(3) 連携の強化

■グループ内外の連携を強化し、
総合化・複合化する事業にワンストップで技術・サービスを提供



- 人材の確保・育成
- 基盤整備
- グループ内外の連携を強化

国内グループ連携



(株)ジェーエステック記者発表

海外グループ連携



ミャンマー現地法人設立開所式

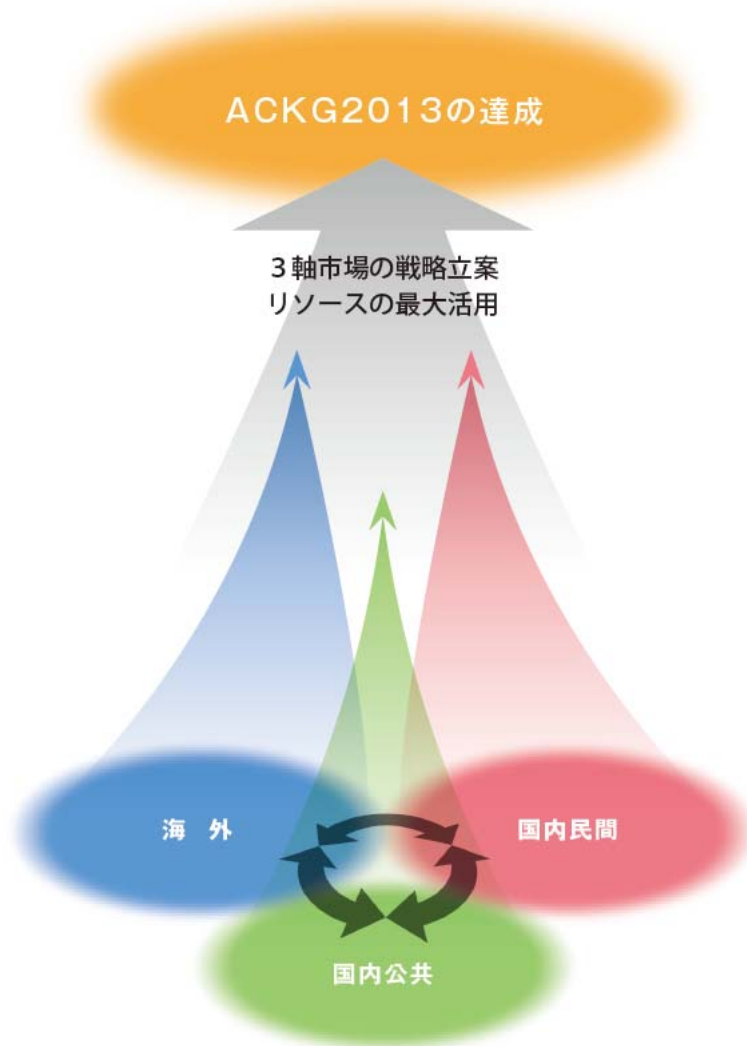
グループ外連携



(株)トニーチコンサルタント調印式

(4) 3軸市場の競争力の強化

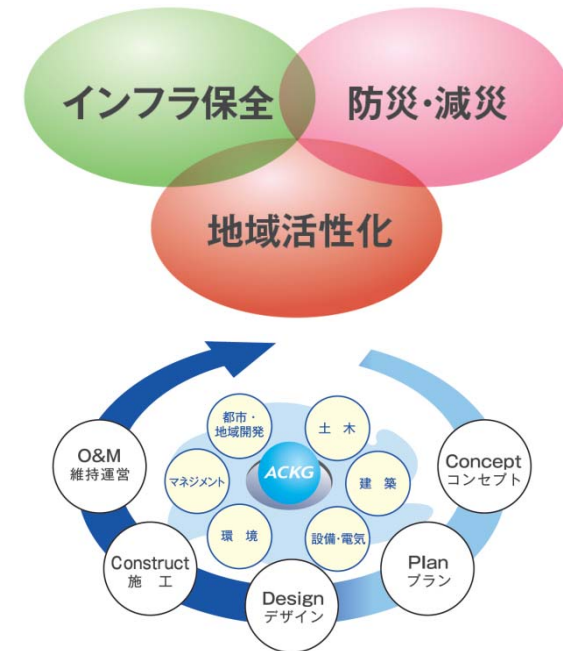
■国内公共・国内民間・海外の3軸市場の特性を踏まえ、
グループとしての総合力を発揮して、競争力を高める



国内公共

国内民間

海外



OCグローバル設立記者発表

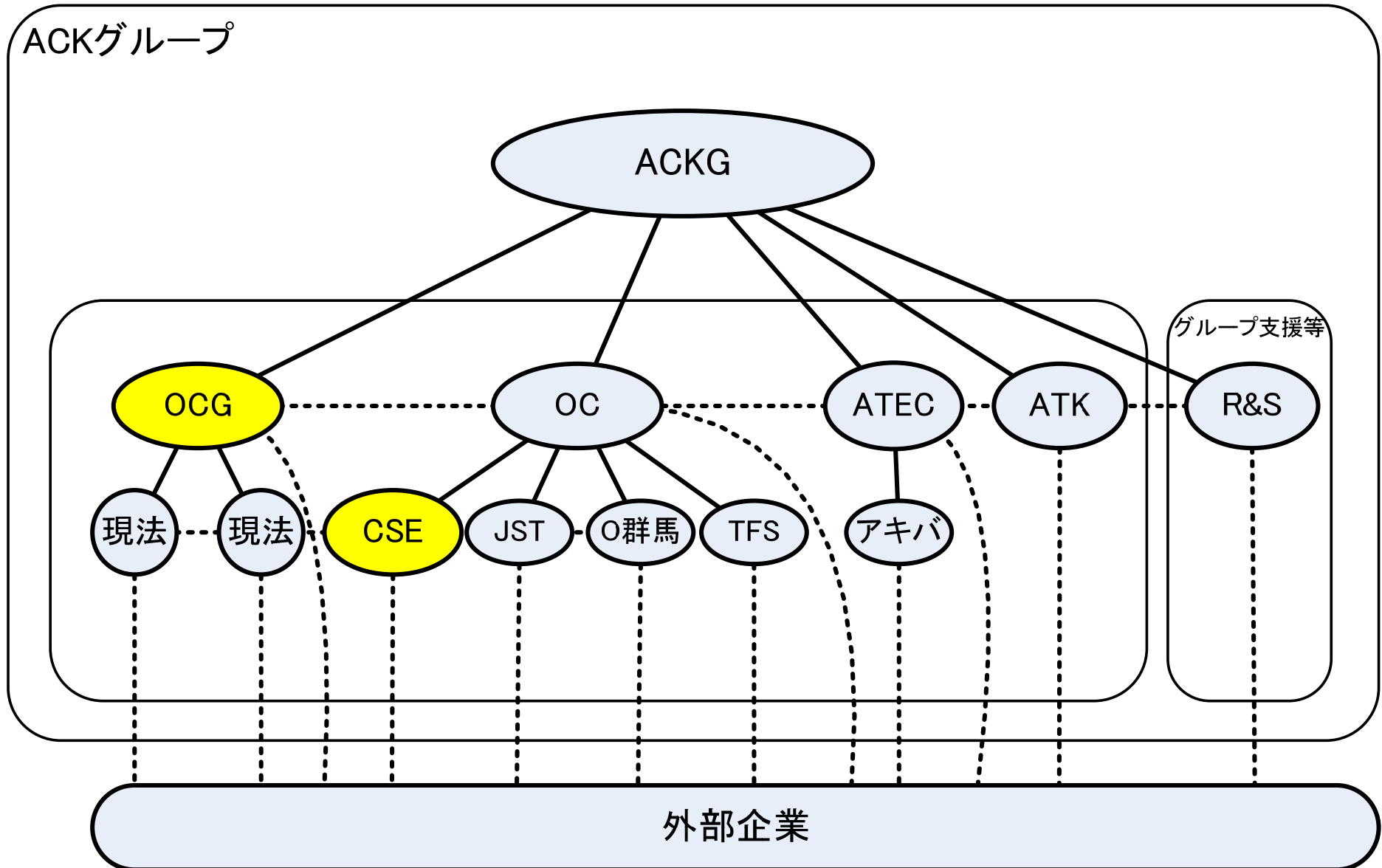
(5) ACKG2013の目標

- ACKG2013で定めた目標に加え、新たな成果目標を設定
- また、施策の充実により、ACKG2013の目標値の強化を行う

項 目		2020年の目標	新規	強化
業績	売上高	500億円以上	—	—
	営業利益	20億円(対売上高4.0%)以上	—	—
重点化事業による事業拡大		重点化事業の売上高を1.5倍増	—	○
人材の 確保・育成	社員	500人以上増	○	—
	女性社員	100人以上増	○	—
	グローバル人材	200人以上増	—	○
	女性管理職	20人以上増	—	○
	有資格者	(技術士300人、博士40人)以上増	○	—
	現地に根ざしたグローバル展開を推進する基盤整備		—	—
基盤整備	グループ連携の促進に繋がる仕組みを構築		—	○

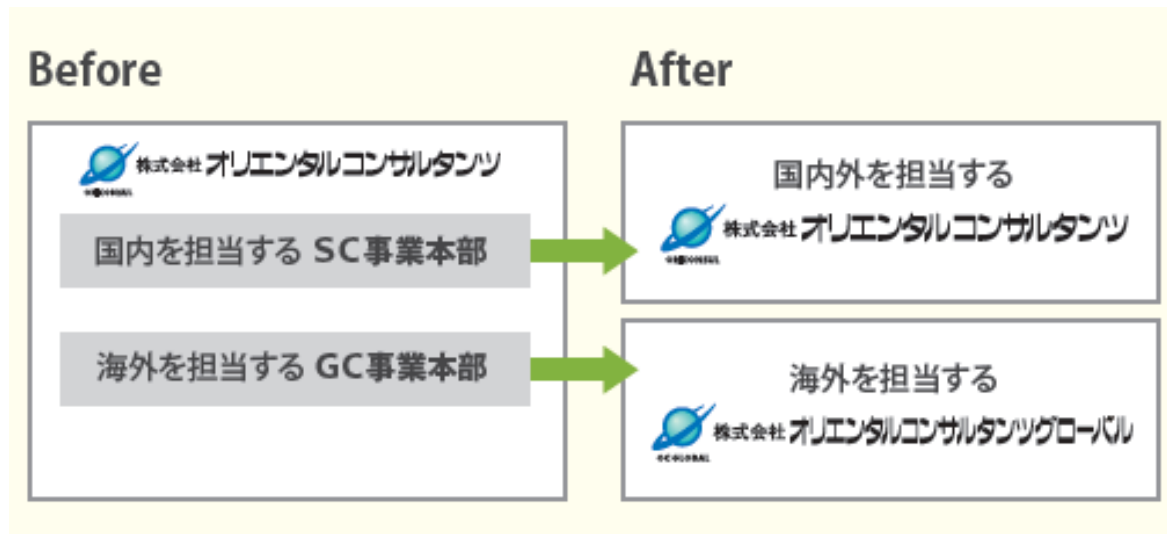
※目標数値は、いずれも当期(2014年9月期)末比を示す。

(6) 来期(2015年9月期)からの組織体制



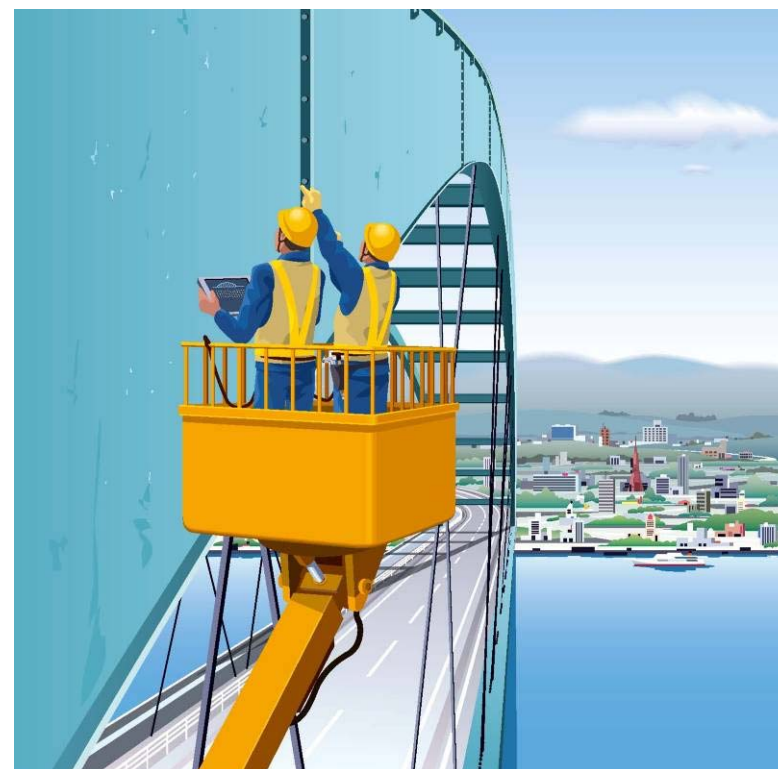
(7)(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル

- OCの海外部門を分社化し、2014年6月に新会社設立
- 2014年10月より本格的に事業活動を開始



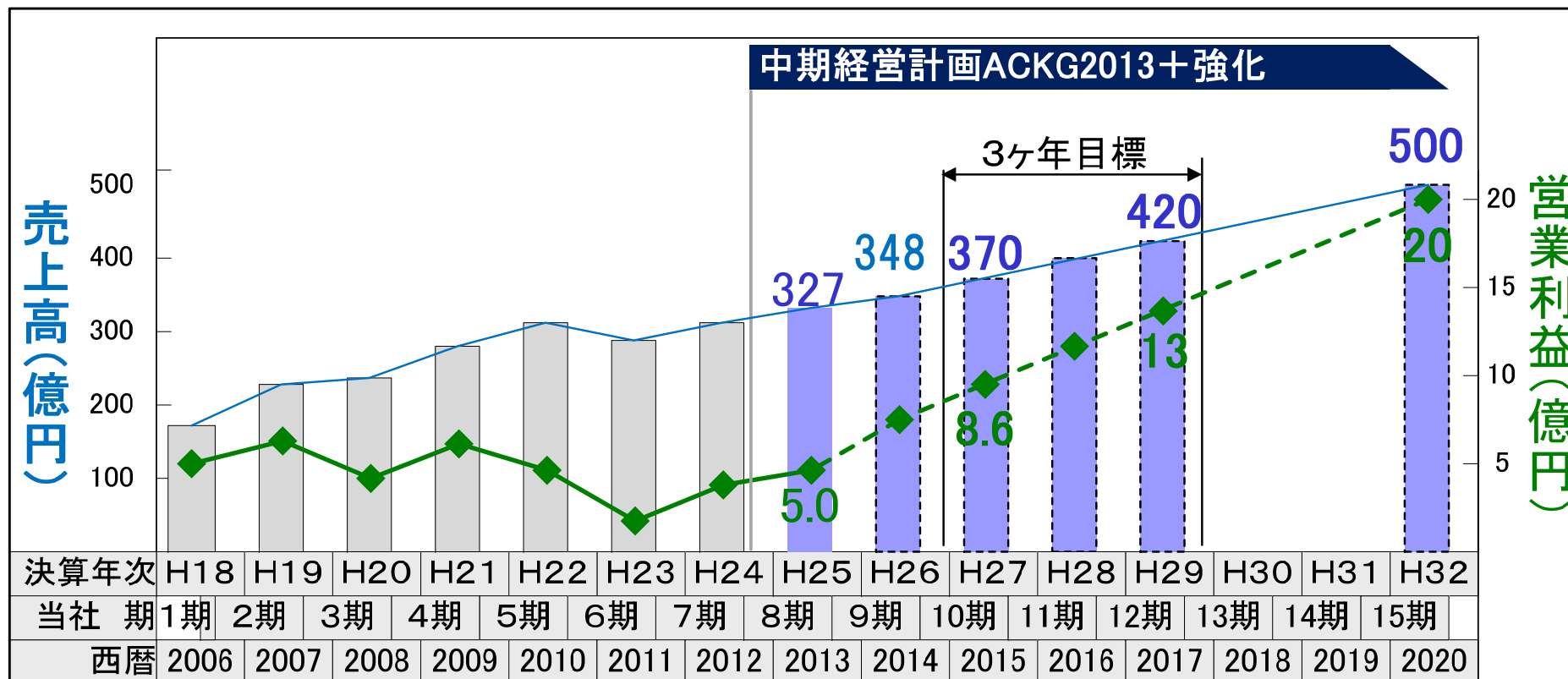
OCグローバル営業開始記者発表

2. 2015年9月期～2017年9月期 3ヶ年の目標



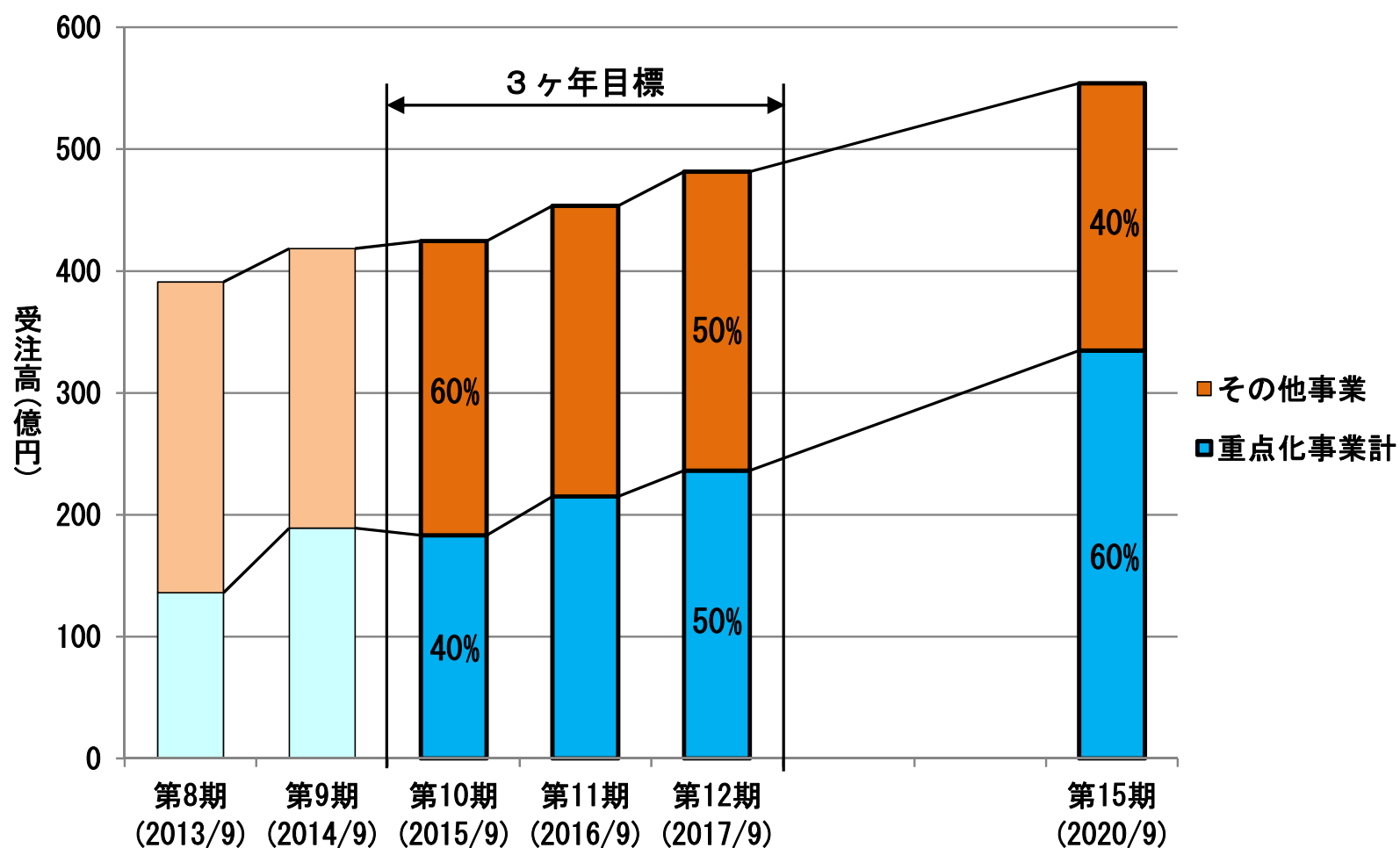
(1)事業拡大

- 3年後(2017年9月期)の目標は、売上高420億円を達成
- 安定的成長を維持し、2020年ビジョンを達成



(2)重点化事業の拡大

■ 3年後(2017年9月期)の目標は、重点化事業を
受注高全体の約5割に拡大、当期の1.2倍増



(3)人材の確保・育成

■人材の確保・育成を着実に推進

(人)

項 目		第12期 (2017年9月期)	(参考)当期 (2014年9月期)
		第10期～第12期 3ヶ年累計増員数	人 数
社員		270	2, 030
女性社員		60	394 (19.4%)
グローバル人材		110	378 (18.6%)
女性管理職		10	23 (1.1%)
有資格者	技術士	150	824 (40.6%)
	博士	15	58 (2.9%)
			674 (38.3%)
			43 (2.4%)

※()は、全社員に対し当該人材の占める割合

V:2015年9月期 通期業績見通し



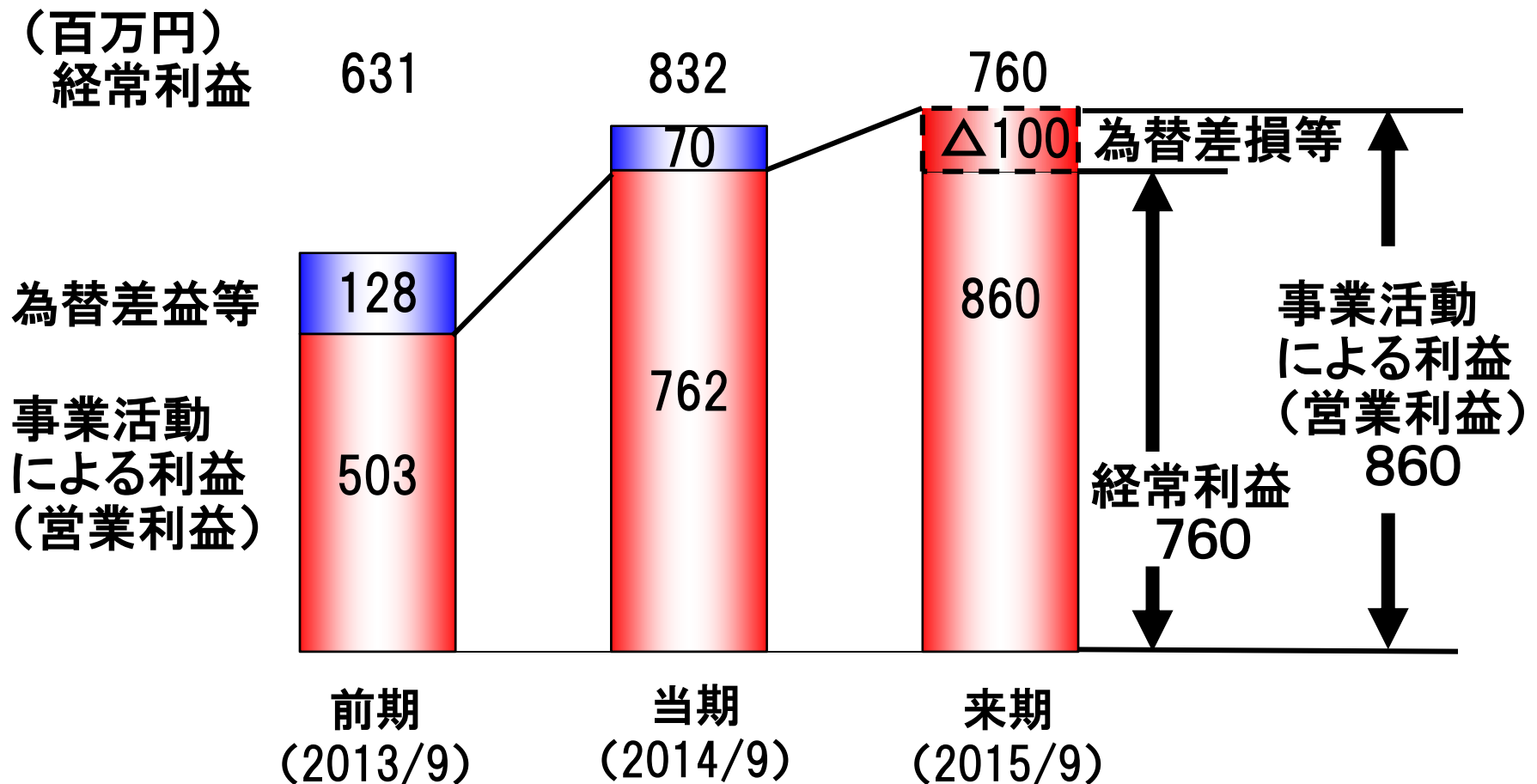
(1)2015年9月期通期業績見通し

- 事業拡大による売上高の増大
- 技術の深化、経費削減による着実な利益の創出

	(百万円)		
	当期 (2014/9)	来期 (2015/9)	増減
売 上 高	34, 848	37, 000	↑ +2, 152 (+6. 2%)
営 業 利 益	762	860	↑ + 98 (+12. 8%)
経 常 利 益	832	760	↓ - 72 (-8. 7%)
当期純利益	529	330	↓ - 199 (-37. 8%)

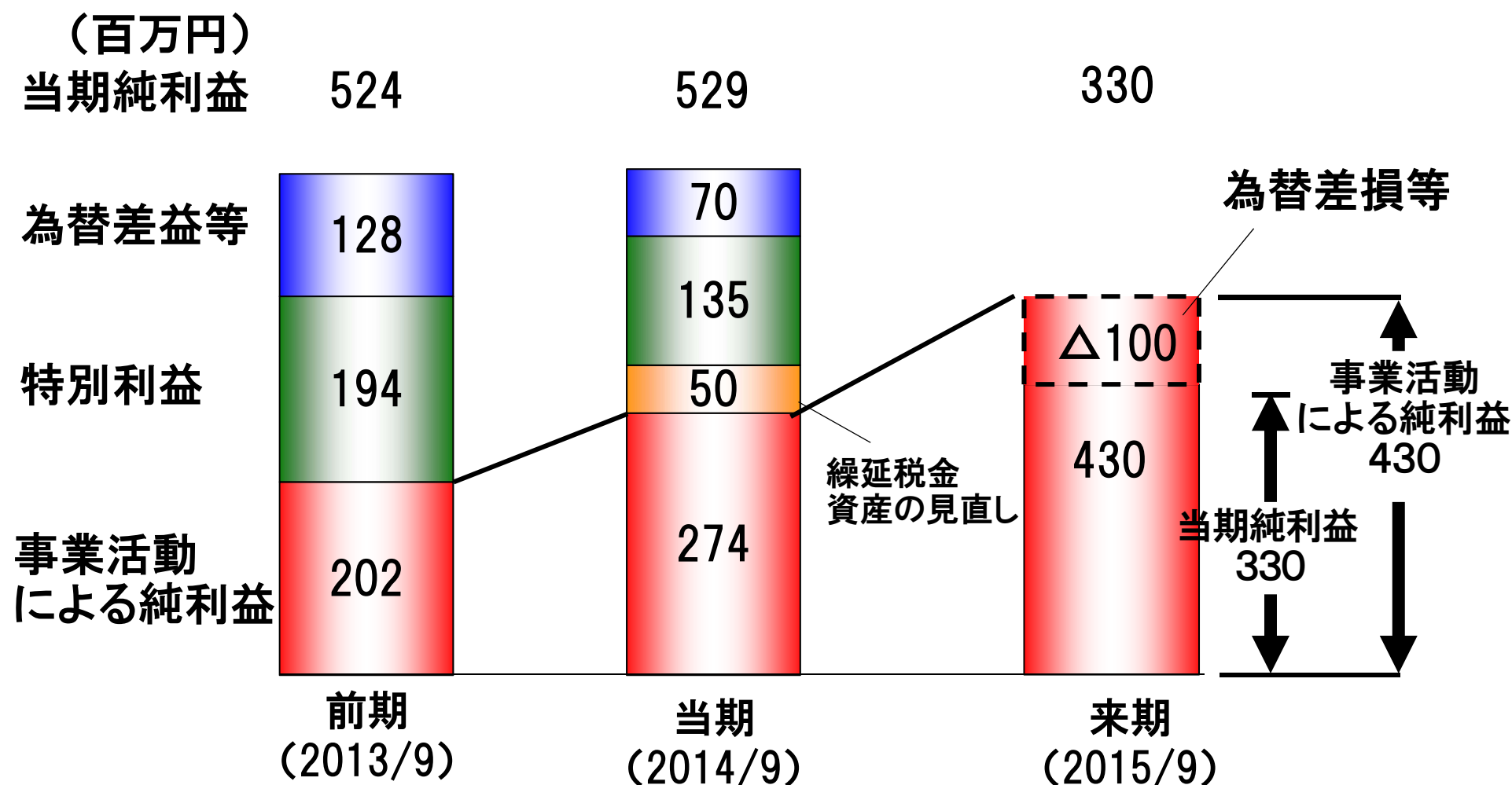
(2)2015年9月期 利益計画(経常利益)

- 来期は、事業活動による営業利益を着実に向上
- ただし、前期及び当期に生じた為替差益等の営業外収益は見込まず



(2)2015年9月期 利益計画(当期純利益)

- 来期は、事業活動による純利益を着実に向上
- ただし、前期及び当期に生じた為替差益、特別利益等は見込まず



(3)2015年9月期売上高の3軸内訳

- グローバルな展開により、海外売上高を拡大
- 重点化事業による事業拡大により、3軸ともに売上を拡大

		(百万円)		
		当期 (2014/9)	来期 (2015/9)	増減
売上高		34,848	37,000	↑ +2,152 (+ 6.2%)
内訳	海外	10,639 (31%)	11,400 (31%)	↑ + 761 (+ 7.2%)
	国内公共	17,865 (51%)	18,600 (50%)	↑ + 735 (+ 4.1%)
	国内民間	6,344 (18%)	7,000 (19%)	↑ + 656 (+10.3%)

(4)事業拡大

■ 4つの個別事業と、4つの統合事業により新たな事業創造を推進



(4)事業拡大

- 期首時点(2014年10月)で69件以上の重点化プロジェクトが活動
- 重点化事業に対して、今後3力年で15億円を投資

重点化事業		第10期 (2015年9月期)	(参考)過去件数		
			第9期 (2014年9月期)	第8期 (2013年9月期)	第7期 (2012年9月期)
①	インフラ保全・運営管理	18	10	12	2
②	防 災	11	9	6	2
③	再生可能エネルギー/スマートコミュニティ	5	8	7	4
④	交 通(高度化・総合化)	9	8	5	2
⑤	都市再生/民間開発	2	6	4	2
⑥	海外新規開拓	12	5	4	1
⑦	事業経営	6	1	—	—
⑧	地域活性化	6	3	—	—
⑨	その他	0	2	2	1
合 計		69件以上	52件	40件	14件

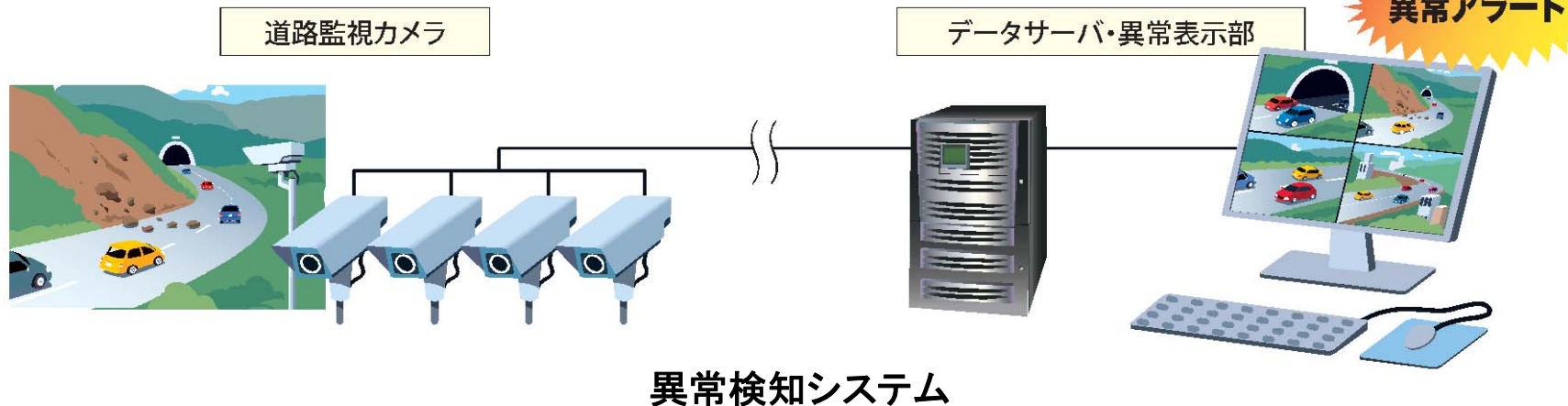
(5)重点化事業(インフラ保全事業の総合展開)

現在までの取組み事例(抜粋)

■インフラ保全の総合的なサービス

- ・ACKグループの保全技術を結集し、各地で実証実験を行い、サービスを高度化・総合化

- ◇埼玉県上里町:施設維持管理
- ◇静岡県富士宮市:施設総合マネジメント
- ◇静岡県焼津市:公共施設データベース構築



(5)重点化事業(防災)

現在までの取組み事例(抜粋)

■ハザードマップ・避難行動計画の策定

- ・避難の呼びかけ基準(タイムライン)
- ・ハザードマップの作成
- ・避難経路のユニバーサルデザイン化
(東京都大島町)

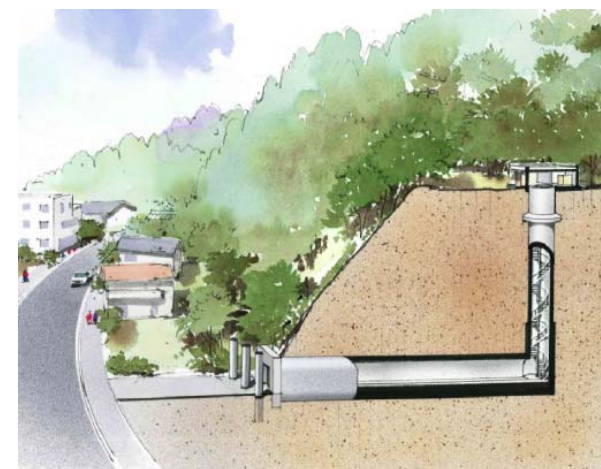


土砂災害ハザードマップ

■津波避難シェルター実施設計

- ・全国初の横穴式津波避難シェルターが工事開始へ
- ・2015年度末(2016.3)の完成を目指す

(高知県室戸市)



津波避難シェルター

(5)重点化事業(交通(高度化・総合化))

現在までの取組み事例(抜粋)

■ 柏市交通安全プロジェクトの始動

- ・約1年半の実証実験にて公用車の事故削減、柏地域の交通事故削減を目標
- ・ヒヤリハットマップの作成
(千葉県柏市)



柏市長との記者会見風景

■ 日本初の本格運用となるラウンドアバウトを計画・設計

- ・改正道路交通法後、日本で初めて本格運用するラウンドアバウトを計画・設計、9月より運用開始
(長野県須坂市)



開通式の様子

(5)重点化事業(地域活性化)

現在までの取組み事例(抜粋)

■複合商業施設を核とした、 にぎわい拠点整備

- ・中心市街地整備の活性化事業
- ・計画から施工まで
グループ連携でワンストップサービス
(青森県八戸市)



複合ビル完成イメージ



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

■南アルプス市モビリティサービス事業

- ・モビリティを活用した着地型観光事業
のプレ事業を実施
- ・超小型EV車を使った地域ツーリング等
(山梨県南アルプス市)



モビリティサービス



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

(5)重点化事業(海外新規開拓)

現在までの取組み事例(抜粋)

■首都ダッカと第二の都市チッタゴンを繋ぐインフラ保全事業

◇バングラディッシュ国

ダッカ・チッタゴン間国道一号線
橋梁改修・建設事業

- ・3橋の耐震補強＋第二橋の新設
- ・設計～施工監理まで対応



国道1号線に架橋されている橋梁保全事業

株式会社 オリエンタルコンサルティンググローバル
OC GLOBAL

■国内第1・第2の商業都市を結ぶ経済動脈の鉄道老朽対策事業

◇ミャンマー国

国営鉄道ヤンゴン・マンダレー線調査設計事業

- ・設備の老朽化対策、近代化に向けた調査・設計事業



手旗信号による運行

株式会社 オリエンタルコンサルティンググローバル
OC GLOBAL

(5)重点化事業(海外新規開拓)

現在までの取組み事例(抜粋)

■ナカラ回廊経済開発戦略策定プロジェクト

◇モザンビーク国

- ・ナカラ港～ザンビア共和国までを道路と鉄道で繋ぐナカラ回廊
- ・ナカラ港が有する国際ゲートウェイの可能性を引き出す資源開発に誘導する経済開発戦略の策定

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL



JICA支援で整備予定のナカラ港

■大アビジャン圏都市整備計画策定プロジェクト

◇コートジボワール国

- ・政情危機、インフラ投資不足により、無秩序な土地利用への対応プロジェクト
- ・2030年までの都市整備計画の策定、都市交通マスタープランの策定など都市政策の推進に貢献

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL



不法居住地域

(5)重点化事業(地域活性化)

現在までの取組み事例(抜粋)

■公園指定管理の事業運営、拡大中！

◇群馬県立敷島公園

(平成24年4月～平成26年3月)

- ・過去3年間の評価、『A評価』
- ・敷島公園祭りの来園数は、3年で2倍以上に増加 (群馬県前橋市)



敷島公園祭り

◇北九州市響灘緑地公園(グリーンパーク)

(平成26年4月～平成31年3月)

- ・ご当地ヒーローが観光PR大使に就任
- ・自主事業としてバーベキューを開始



子供とふれあうキタキュウマン

◇厚木市荻野運動公園

- ・平成27年4月～平成32年3月の
第一特定候補者に選定

(神奈川県厚木市)

(議会決議にて正式決定)



厚木市荻野運動公園の施設

(6) 育成と連携

◆女性の活躍

■オリエンタルコンサルタンツ・インディア

- ・地下鉄、高速貨物鉄道、新幹線導入など、急激に発展しているインドに現地法人を設立(2013年6月)
- ・グループ初の女性社長就任

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL

(2014年10月)



グループ初の女性社長に就任した阿部社長

■働く母親の視点でまちづくり優秀賞を獲得！

- ・真駒内まちづくりコンペに挑戦
- ・「働くママの笑顔が“みんなが輝く街にする”」というコンセプトが評価され、応募52作品中、1位評価！（優秀賞）
(北海道札幌市)

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
ORICONSUL



働く母親の視点が評価され優秀賞受賞

(7)外部評価

◆社会貢献が認められて数多くの表彰獲得【国内編】

■平成25年度 土木学会田中賞作品部門

- ・霞橋の架け替え事業(東京都渋谷区)
- ・明治期の構造物が現代の基準に適合して復活



霞橋(旧江ヶ崎跨線橋を再利用)

■平成26年度 土木学会 橋梁模型コンテスト『優秀賞』

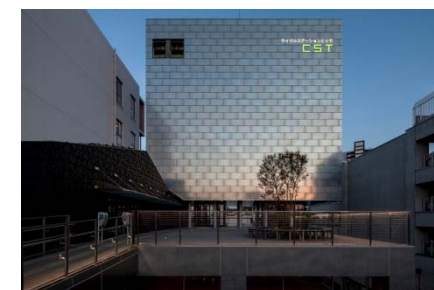
- ・指定された材料で模型を作成
- ・デザイン、完成度、構造的などを34チームが競い合い、優秀賞を獲得！



受賞した模型

■2014年度 グッドデザイン賞

- ・サイクルステーションとりで(茨城県取手市)
- ・取手駅西口公共自転車駐車場
(平成26年3月オープン)



デザイン性・ランドマーク性が評価された
「サイクルステーションとりで」

(7)外部評価

◆社会貢献が認められて数多くの表彰獲得【国外編】

■第10回JICA 理事長表彰

- ・トルコ国ボスポラス海峡横断

地下鉄整備事業



受賞状況

■第10回JICA 理事長表彰

- ・アフガニスタン国無償資金協力事業
- ・複数の復興支援事業活動が評価！



受賞状況

■平成25年度 土木学会 国際活動協力賞

- ・初めて創設された本賞の受賞第一号！
- ・フィリピン国などでの鉄道整備事業で貢献



ホルヘ・ミューラ氏

感じてますか 未来の鼓動

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、今の業容にとらわれずサービス領域の無限大へ今後もチャレンジし続けます！



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

VI: 質疑応答



APPENDICES

ー主要トピックスー



主要トピックス(インフラ保全・運営管理)

◇インフラ保全実証実験

- 保有するICTシステム等を自治体へ貸与し、
実際の業務で活用する過程で、管理者目線で検証
- 道路管理者の維持管理における潜在ニーズの把握、
道路維持管理のあり方を検証

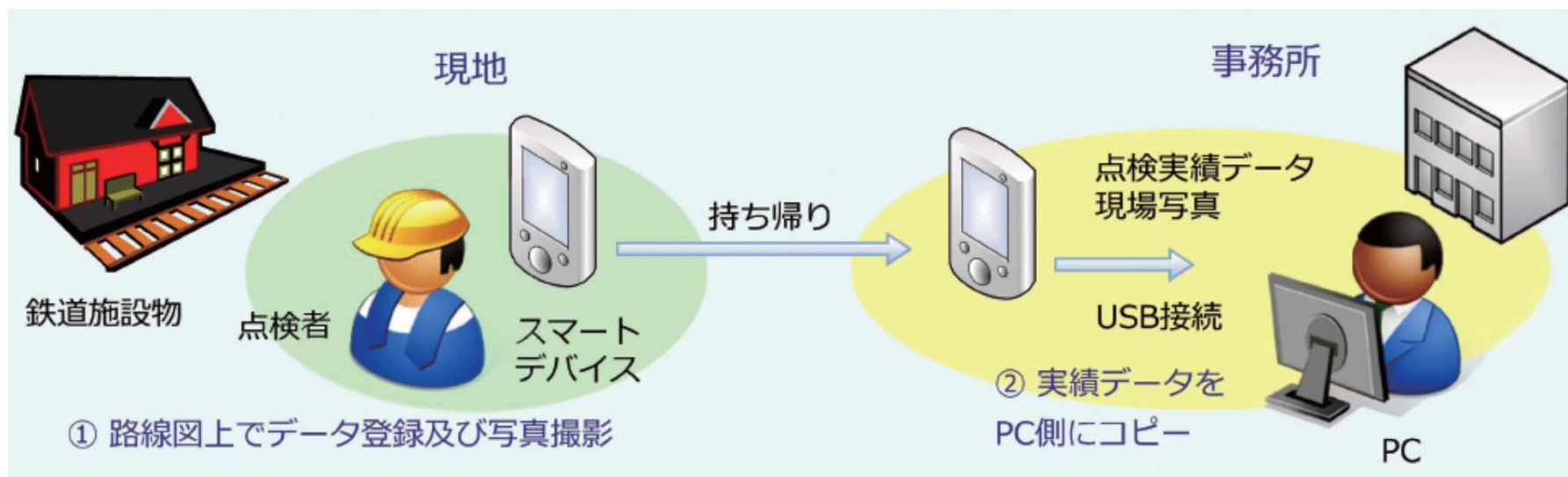


▲実証実験の進め方

主要トピックス(インフラ保全・運営管理)

◇スマートデバイスを活用した鉄道施設物定期検査の効率化

- 徹底した安全基準、保守管理が求められる鉄道駅舎構造物点検について、基準の提案から点検評価まで、総合コンサルティング
- スマートデバイス及び専用アプリケーションの導入により、
点検作業を、効率化及び省力化



▲スマートデバイスを活用した鉄道施設物点検イメージ

主要トピックス(再生可能エネルギー/スマートコミュニティ)

◇PPP(官民連携)の太陽光発電事業

- 山梨県南アルプス市(全国初)、山梨県昭和町の2市町(全国で2例目)で、官民連携による太陽光発電事業を実施。
- 「負担付き寄附」方式により、自治体は、財政負担ゼロ。
- 自治体は、災害時の非常用電源として電力を使用可能。



▲太陽光発電施設(南アルプス市)

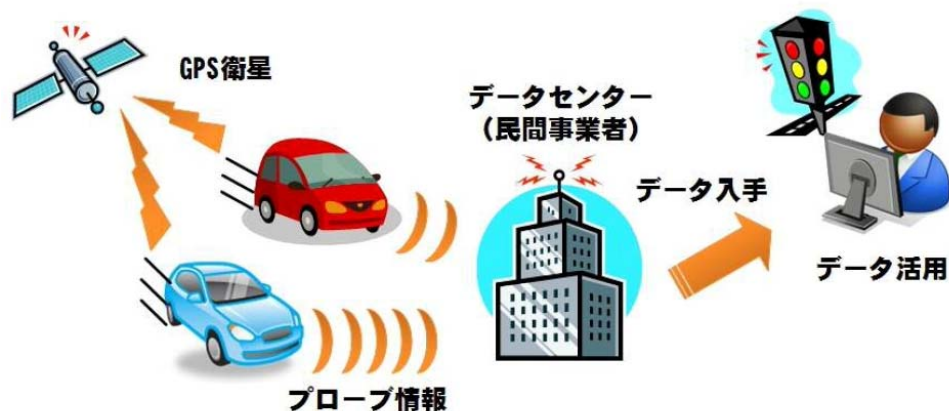


▲記者発表(H25年3月 昭和町)

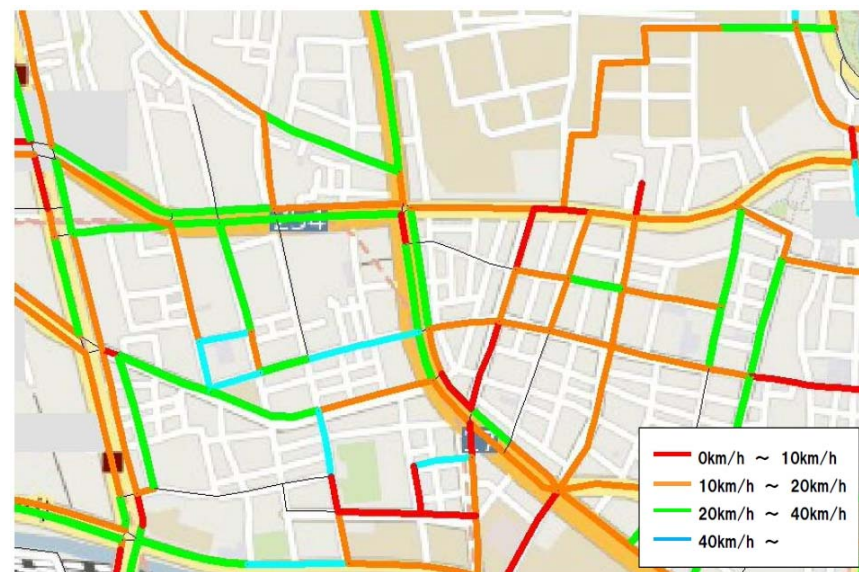
主要トピックス(交通の高度化・総合化)

◇プローブ情報を活用した交通問題分析・検討

- 交通量調査を行わず、プローブ情報により、詳細な交通状況
(交通量、経路、速度、急ブレーキ等)を把握
- プローブ情報の解析により渋滞箇所、原因を特定
- 交通シミュレーションによる信号制御の改良検討を実施



▲民間プローブ情報収集の仕組み



▲渋滞区間の抽出

主要トピックス：交通（高度化・総合化）

◇第20回ITS世界会議 東京2013に出展

- (株)オリエンタルコンサルタンツからは、
横断者感知式注意喚起システムなどを出展。
- (株)エイテックからは、リニューアルした
可搬型交通量計測装置(MOVTRA/モバトラ)などを出展。



▲(株)オリエンタルコンサルタンツ展示ブース

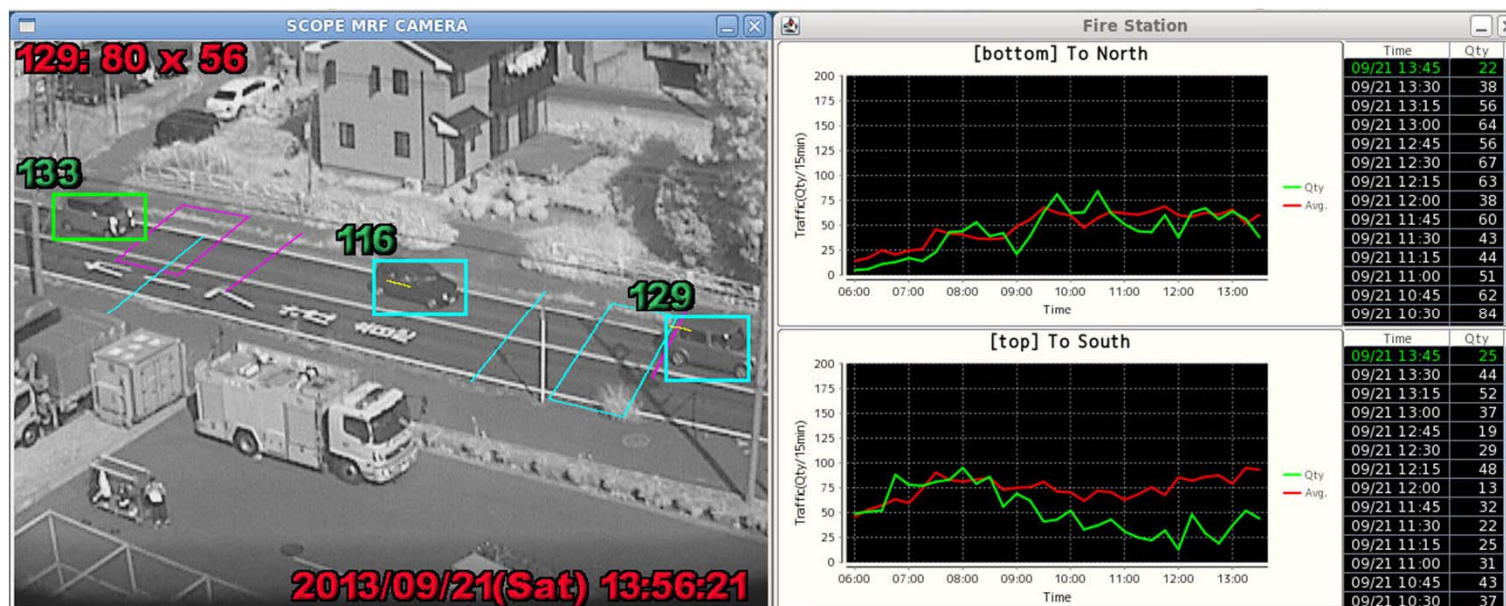


▲(株)エイテック展示ブース

主要トピックス：交通（高度化・総合化）

◇生活活動情報フィードバックシステム社会実験

- 東京大学を中心とした7団体からなる研究グループに参加。
総務省のSCOPEの資金を活用したプロジェクト。
- 柏地域における社会実験「かしわスマート」を実施。
リアルタイムのCO2排出量や交通情報を市民へ提供し、
環境配慮した行動変容を「後押し」。

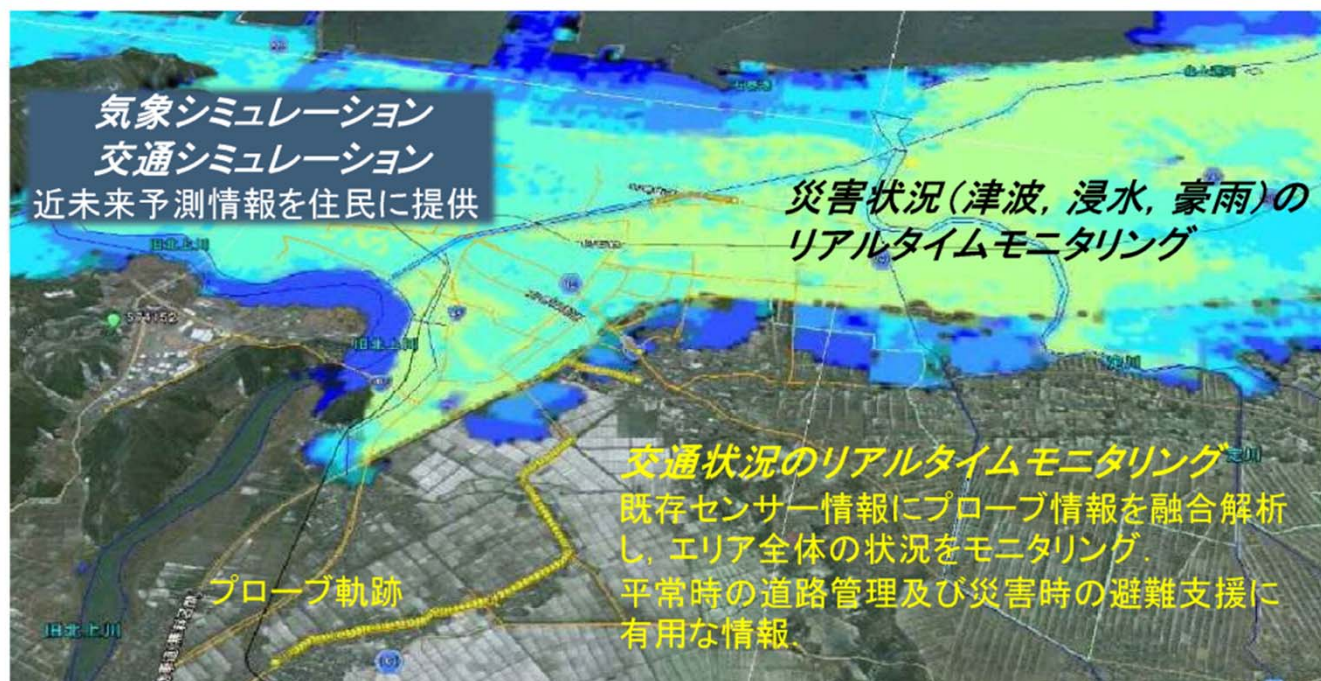


▲画像解析を活用したリアルタイム監視システム

主要トピックス：交通（高度化・総合化）

◇ビッグデータを用いた災害時のモビリティ支援

- 東北大学を中心とした7団体からなる研究共同体「DOMINGO」に参加し、災害時等におけるモビリティ支援を研究。
- ビッグデータを、道路インフラ整備・管理計画支援や、道路交通・災害状況のモニタリングと近未来の予測などに活用。



▲道路交通・災害状況のモニタリングと近未来の予測

主要トピックス(海外新規開拓)

◇マニラ首都圏の公共交通整備

- 既存の交通インフラの拡充や新たな公共交通ネットワークの計画・整備に貢献
- 慢性的な交通渋滞の解消により経済発展と環境改善に導く



▲マニラ南部への延伸が計画されている
LRT Line1



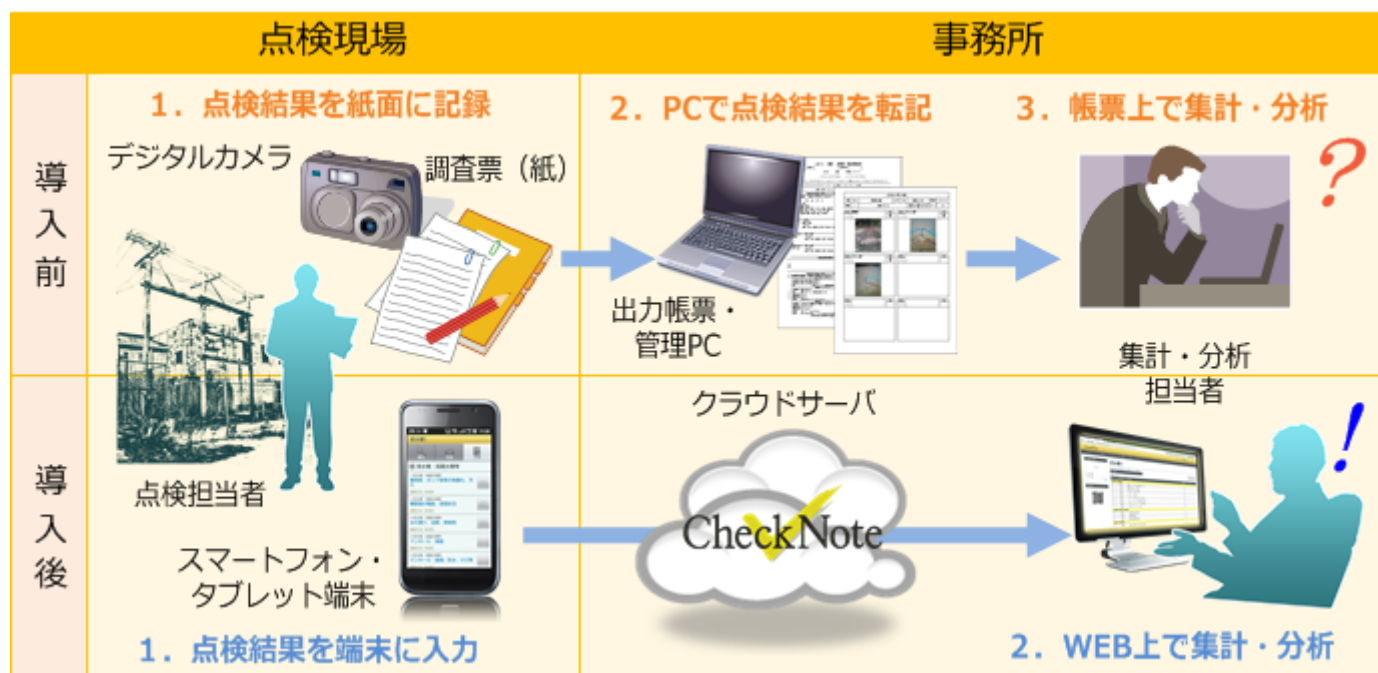
▲マニラ中心部への通勤・通学の
利便性向上に貢献する都市鉄道

主要トピックス(その他)

◇スマートデバイス設備点検クラウド「CheckNote」



- 現場でスマートデバイスに入力した点検結果を、クラウドサーバに登録し、点検情報を一元管理。
- 結果の取りまとめや、帳票作成の負荷を軽減。
- インターネットで、どこからでも点検状況を確認可能。



▲『CheckNote』サービスイメージ

主要トピックス(その他)

◇スマートデバイス地図データ管理サービス「SOCOCA」



- 現場でスマートデバイスに入力した情報を、クラウドサーバに登録し、PC側で視覚的な管理が可能。
- インフラ施設点検、災害情報収集、不動産管理等、様々なシーンで利用可能なサービス。



▲『SOCOCA』サービスイメージ

APPENDICES

—連結決算詳細—



連結貸借対照表

(百万円)	前期 (2013/9)		当期 (2014/9)		増減額	
流動資産	15,637	(77.6%)	17,749	(77.4%)	2,076	・現金及び預金、 未成業務支出金 の増加等の影響
固定資産	4,507	(22.3%)	5,192	(22.6%)	685	
資産合計	20,189	(100.0%)	22,994	(100.0%)	2,755	
流動負債	12,982	(64.3%)	15,293	(66.7%)	2,311	・未成業務受入金 の増加等の影響
固定負債	1,441	(7.1%)	1,177	(5.1%)	▲264	
負債合計	14,423	(71.4%)	16,471	(71.8%)	2,048	
資本金	503	(2.5%)	503	(2.2%)	—	・当期純利益増加 等の影響
資本剰余金	747	(3.7%)	747	(3.3%)	—	
利益剰余金	4,710	(23.3%)	5,201	(22.7%)	491	
純資産合計	5,765	(28.6%)	6,473	(28.2%)	708	
負債・純資産 合計	20,189	(100.0%)	22,944	(100.0%)	2,755	

負債内訳表

(百万円)	前期 (2013/9)		当期 (2014/9)		増減額	
短期借入金	646	(4.5%)	164	(1.0%)	▲482	有利子負債 の減少
1年内償還予定 の社債	340	(2.4%)	340	(2.1%)	—	
その他	11,996	(83.2%)	14,789	(89.8%)	2,793	
流動負債計	12,982	(90.0%)	15,293	(92.9%)	2,311	
社債	510	(3.5%)	170	(1.0%)	▲340	
その他	931	(6.5%)	1,007	(6.1%)	76	
固定負債合計	1,441	(10.0%)	1,177	(7.1%)	▲264	
負債合計	14,423	(100.0%)	16,471	(100.0%)	2,048	

連結損益計算書／受注高

(百万円)	前期 (2013/9)		当期 (2014/9)		増減額	
売上高	32,696	(100.0%)	34,848	(100.0%)	2,152	・受注好調等による売上増加
売上原価	25,076	(76.7%)	26,585	(76.3%)	1,509	
販売費・ 一般管理費	7,116	(21.8%)	7,500	(21.5%)	384	・売上増加、経費削減等により営業利益が増加
営業利益	503	(1.5%)	762	(2.2%)	259	
経常利益	631	(1.9%)	832	(2.4%)	201	
当期純利益	524	(1.6%)	529	(1.5%)	5	
受注高	37,863	----	39,552	----	1,689	・国内外ともに、受注増加

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	前期 (2013/9)	当期 (2014/9)	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	1, 918	2, 554	636	・受注増に伴う未成業務受 入金の増加による影響
投資活動による キャッシュフロー	▲456	▲677	▲221	・関係会社株式の取得等 の影響
財務活動による キャッシュフロー	▲885	▲894	▲9	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	2, 256	3, 327	1, 071	・短期借入金の返済及び 社債償還等の影響

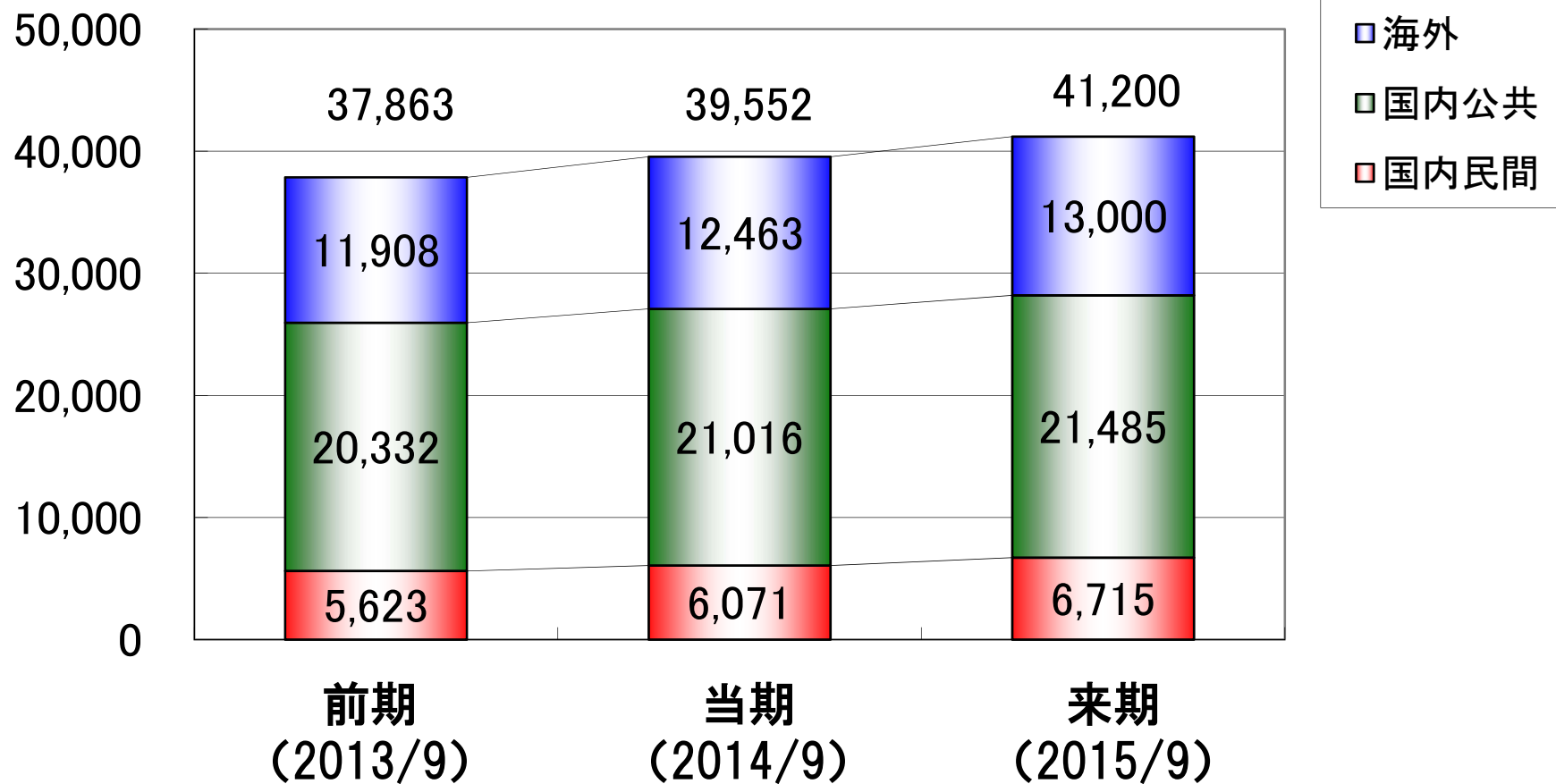
指標関係(連結)

	単位	前期 (2013/9)	当期 (2014/9)
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	102.55	103.37
自己資本比率	(%)	28.6	28.2
自己資本純利益率(ROE)	(%)	9.6	8.7
総資産経常利益率(ROA)	(%)	3.4	3.9
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.54	0.79

※上記は、前期：2013/9/30（606円）、当期：2014/9/30（999円）
の株価の終値をもとに整理

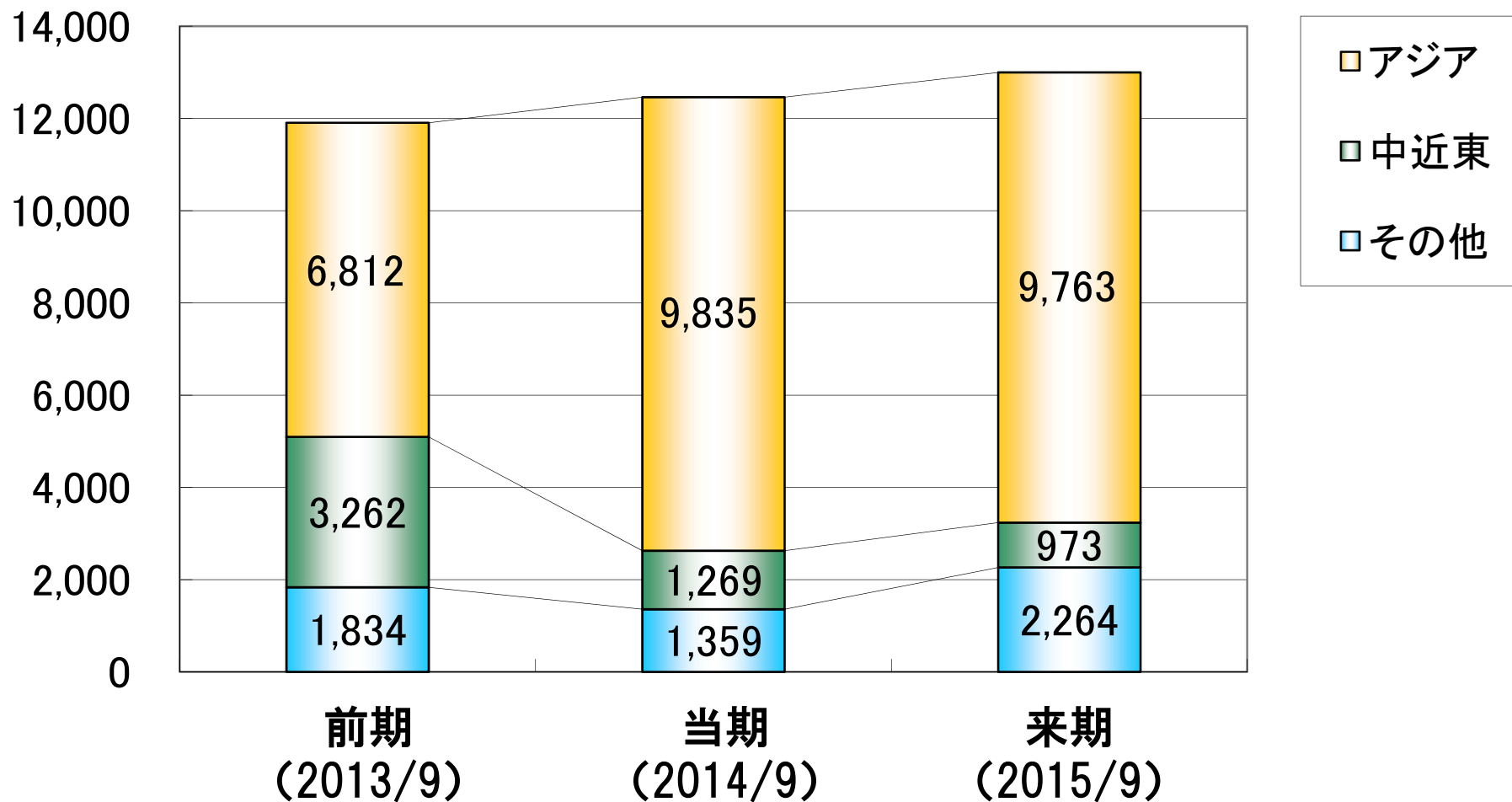
3軸別受注高について

(百万円)



海外地域別受注高について

(百万円)



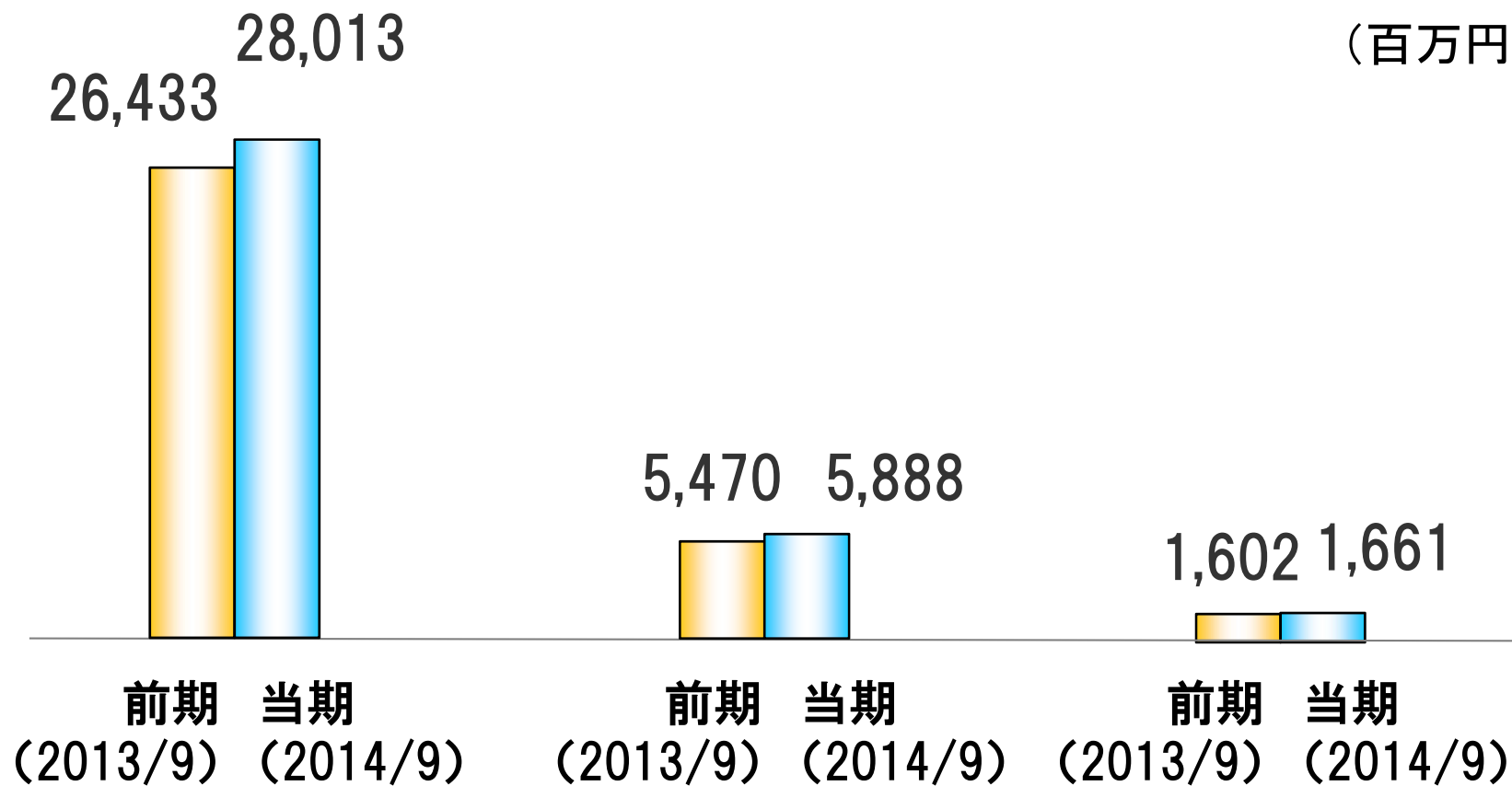
セグメント別売上高について

インフラマネジメント

環境マネジメント

その他

(百万円)



お問い合わせ先



JASDAQ

銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

(銘柄略称: ACKG／証券コード: 2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。

